

災害発生!

あなたは いつ どこ に逃げる!?

災害が発生したときに大切なことは、自らの命は自らが守る意識を持ち、自らの判断で避難することです。防災情報で見聞きする言葉の意味を再確認し、迷いなく避難の判断ができるようになります。

1 避難するタイミングは自分で見極めよう

「警戒レベル」って何？

「警戒レベル」は、災害が発生したときに取るべき行動を直感的に理解しやすくするために作られたものです。市では、大雨などにより木曾川や日光川などの堤防の決壊のおそれがある場合に、「警戒レベル」を示して、市民の皆さんが取るべき行動を呼びかけています。

避難情報と警戒レベル

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報（避難情報等）
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保 (必ず発令されるものではない)

〈警戒レベル4までに必ず避難！〉

4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※	高齢者等避難
2	気象状況 悪化	自らの避難行動を 確認する	レベル2 氾濫・大雨・ 土砂災害・高潮注意報
1	今後気象 状況悪化の おそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報

※高齢者等以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、自主的に避難

危険な場所にいる人は必ず警戒レベル4までに避難してください。
早めの避難行動は、大切な命を守ります。



市が指定した「指定緊急避難場所」と「指定避難所」は次のページで確認できます。



2 避難できる場所を理解しよう

もしもの時に避難するのは「緊急避難場所」です！「避難所」ではありません。

「指定緊急避難場所」って何？

津波や洪水による危険が迫っているとき、命を守るために**緊急かつ一時的に避難する場所**。安全が確認できていれば、親戚や知人宅などでも構いません。

「指定避難所」って何？

災害が起こってから一定の時間がたち、危機が去った後に帰宅できないなど**避難が長引く場合に、緊急避難場所から移動(移行)して滞在・生活する施設**。

3 適切な避難行動は災害の種類ごとに異なることを知ろう

災害の種類によって身の安全を確保することのできる避難場所は異なります。災害ごとの避難方法や場所については、**愛西市防災ハンドブック**や**ハザードマップ**にも掲載していますので、確認しましょう。避難の際には、特別な理由がない限り、車の利用を控えてください。

※台風などの風水害時は、自主避難者受入施設を開設する場合があります。開設する際は、市防災メールや市ホームページなどでお知らせします。**(市では、自主避難者の方に非常食・毛布などを支給しませんので、必ず各自で準備してください。)**



市防災メールに登録を！！

災害時には、複数の手段によって情報を収集するよう心がけてください。その1つとして「市防災メール」をご利用ください。



防災について詳しくはこちら

市防災
市ホームページ



市防災
ハンドブック



市防災
ハザードマップ

